

令和5年10月八幡平市教育委員会定例会

日 時 令和5年10月25日（水）

午後1時30分から

場 所 八幡平市役所3階大会議室

次 第

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 報告事項

(1)各課から報告

① 教育総務課

② 教育指導課

③ 文化スポーツ課

4 付議する事件

(1)議案第1号 令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について（令和4年度対象）

5 その他

6 閉 会

会議名 令和5年10月八幡平市教育委員会定例会

日時 令和5年10月25日(水)
午後1時30分から 時 分まで

場所 八幡平市役所3階大会議室

出席者 教育長 星 俊也
委員 羽沢 憲英
委員 宮野 朋士
委員 松田 育恵
委員 小野 永喜

説明員 教育総務課長兼学校給食センター所長兼図書館長 遠藤 幸宏
教育指導課長兼教育研究所長 柏 英保
文化スポーツ課長 関 貴之

事務局 教育総務課長補佐兼学校給食センター副所長兼図書館副館長 羽澤 りち子

傍聴人 人

八幡平市教育委員会行事報告

令和5年9月定例会終了後～令和5年10月定例会

月 日	行事等の内容	場 所	担当課等
10月3日(火)	岩手地区校長会研究大会	サンセール盛岡	教育指導課
10月6日(金)	八幡平市小学校音楽発表会	安代小学校	教育総務課
10月7日(土)	文化祭	西根中学校、西根第一中学校、安代中学校	教育総務課
	姉妹・友好都市歓迎交流会	八幡平ハイツ	まちづくり推進課
10月8日(日)	第17回フィールドXレース開会式	市総合運動公園	文化スポーツ課
10月11日(水)	八幡平市戦没者追悼式	西根地区市民センター	地域福祉課
	学校公開	大更小学校	教育指導課
10月13日(金)	学校訪問	安代中学校	教育指導課
10月14日(土)	学習発表会	平笠小学校、松野小学校、柏台小学校	教育総務課
10月16日(月)	部活動のあり方検討委員会	市役所大会議室	教育指導課
10月17日(火)	市校長会議	市役所大会議室	教育指導課
10月19日(木)	岩手地区中学校総合文化祭	マリオス	教育指導課
10月20日(金)	大更小学校創立150周年記念事業タイムカプセル埋設	大更小学校	教育総務課
	シールコンファーマメントセレモニー	ハロウ安比校	企画財政課
10月21日(土)	学習発表会	平館小学校、寺田小学校、寄木小学校、安代小学校、田山小学校	教育総務課
	八幡平市芸術祭開幕式	松尾コミュニティセンター	文化スポーツ課
	松尾中学校創立70周年記念碑除幕式、同胞塾20周年記念事業懇談会	松尾中学校 市役所多目的ホール	教育総務課
10月22日(日)	文化祭	松尾中学校	教育総務課
10月23日(月)	職員採用試験（面接）	市役所大会議室	総務課
10月24日(火)	第2回学校統合検討委員会	市役所多目的ホール棟	教育総務課
10月25日(火)	職員採用試験（面接）	市役所大会議室	総務課
	10月定例会	市役所大会議室	教育総務課

八幡平市教育委員会行事計画

令和5年10月定例会終了後～令和5年11月30日

月 日	行事等の内容	場 所	担当課等
10月26日(木) 10月27日(金)	令和5年度教育長部会会議	プラザイン水沢	教育総務課
10月28日(土)	学習発表会	田頭小学校	教育総務課
10月31日(火)	学校訪問	安代小学校、田山小学校	教育指導課
11月1日(水)	第3回管内市町教育委員会教育長会議並びに第2回管内市町教育委員会学校教育担当課長会議	サンセール盛岡	教育総務課
	第2回管内小・中学校長会議	サンセール盛岡	教育総務課
	第2回学校安全互助会理事会	岩手県公会堂	教育総務課
11月2日(木)	学校訪問	寄木小学校	教育指導課
11月3日(金)	八幡平市市民憲章推進大会	西根地区市民センター	まちづくり推進課
	第26回少年少女の詩「江間章子賞」授与式		教育総務課
11月4日(土)	大更小学校創立150周年記念式典	大更小学校	教育総務課
11月6日(月)	学校訪問	平笠小学校	教育指導課
11月7日(火)	学校訪問	柏台小学校	教育指導課
11月8日(水)	第20回B & G全国教育長会議	東京都ベルサール汐留	文化スポーツ課
11月9日(木)	盛岡教育事務所管内市町教育委員会教育委員等研修会	サンセール盛岡	教育総務課
	「いわて教育の日」のつどい	岩手県民会館	
11月10日(金)	辞令交付式	市役所応接室	総務課
11月13日(月)	学校訪問	松野小学校、田頭小学校	教育指導課
11月14日(火)	第2回岩手県学校教育ICT推進協議会	サンセール盛岡	教育総務課
	第2回県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換		
11月14日(火)	市校長会議	西根第一中学校	教育指導課
11月15日(水)	11月定例会	市役所大会議室	教育総務課

議案第1号

令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価（令和4年度対象）
について

令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について、別紙のとおり
決定したいので委員会の議決を求める。

令和5年10月25日提出

八幡平市教育委員会教育長 星 俊也

提案理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を決定しようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

令和5年度

**「教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検・評価」に関する**

報 告 書

令和4年度対象

令和5年10月

八幡平市教育委員会

目 次

1	八幡平市「教育に関する点検及び評価」について	1
2	八幡平市教育委員会の活動について	2
3	令和4年度事業点検評価について	5
	(基本目標1 未来への希望にもえるまちづくり)	
	施策 住んで幸せを感じるまちづくり	7
	施策 安心して子育てができるまちづくり	7
	(基本目標3 心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり)	
	施策 地域に根ざした教育の充実	8
	施策 心豊かな人生を送る学習機会の充実	15
	施策 スポーツ活動の推進	19

1 八幡平市「教育に関する点検及び評価」について

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）」により、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされております。

そこで、市教育委員会では、法の趣旨に則し、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、「教育委員会の点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価は、第 2 次八幡平市総合計画基本構想の施策体系に基づき、施策・事務事業の評価を行っております。

点検・評価にあたりましては、令和 4 年度に取り組んだ主な施策の事務事業を対象として実施しました。

(3) 学識経験者の知見の活用

地教行法第 26 条 2 項において、点検・評価について教育に関する有識者の知見を活用することが規定されております。本市においては、有識者等の活用を図るまで至っていないことから、教育委員会が行った点検・評価について、その客観性を確保するため体制整備に努めてまいります。

(4) 公表の方法

点検・評価の結果については、告示をします。

参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

2 八幡平市教育委員会の活動について

八幡平市教育委員会教育委員は、毎月1回の定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開催しています。

また、各種の会議や研修会及び、学校行事、地域の行事、市の主催行事等にも出席し、教育を取り巻く状況の把握と市民の意見聴取に努めています。

(1) 会議の開催状況

教育委員の会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「八幡平市教育委員会会議規則」の規定に基づき開催しました。改正後の関係法令が平成20年4月1日に施行されたことに伴い、議案審議のほか教育行政に関するさまざまな事項について、情報・意見等の交換に努めました。令和4年度に行われた会議（期日・案件等）は、以下のとおりです。

会 議 名	議案・報告	付 議 す る 事 件
4月定例会 (4月25日)	報告第1号	八幡平市オンライン学習環境整備事業費補助金交付要綱の制定について
	議案第1号	八幡平市招致外国青年就業規則の一部を改正する規則の専決処分に関し承認を求めることについて
	議案第2号	八幡平市社会教育委員の解任及び委嘱の専決処分の専決処分に関し承認を求めることについて
5月定例会 (5月24日)	議案第1号	八幡平市立学校給食センター運営委員会委員の任命に関し議決を求めることについて
	議案第2号	八幡平市教育支援委員会委員の解嘱及び委嘱に関し議決を求めることについて
6月定例会 (6月27日)	報告第1号	議会の議決を経るべき議案について(令和4年度八幡平市一般会計補正予算第2号)
	議案第1号	八幡平市立学校給食センター運営委員会委員の任命の専決処理に関し承認を求めることについて
	議案第2号	八幡平市社会教育委員の委嘱に関し議決を求めることについて
	議案第3号	八幡平市図書館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて
7月定例会 (7月22日)	議案第1号	教科用図書の採択に関し議決を求めることについて
8月定例会 (8月24日)	報告第1号	令和3年度八幡平市教育委員会の主要な施策への取組結果について
	報告第2号	議会の議決を経るべき議案について(令和4年度八幡平市一般会計補正予算第4号)
9月定例会 (9月27日)		諸般の報告

会 議 名	議案・報告	付 議 す る 事 件
10 月定例会 (10 月 25 日)	議案第 1 号	議会の議決を経るべき議案について(令和 4 年度八幡平市一般会計補正予算第 5 号)
11 月定例会 (11 月 15 日)	報告第 1 号	八幡平市学校適正配置庁内検討委員会設置規程の一部改正について
12 月定例会 (12 月 23 日)	報告第 1 号	議会の議決を経るべき議案について(令和 4 年度八幡平市一般会計補正予算第 7 号)
1 月定例会 (1 月 30 日)	議案第 1 号	八幡平市立学校職員の勤務時間等に関する規則の一部改正について
	議案第 2 号	令和 4 年度八幡平市教育委員会児童生徒表彰の被表彰者の決定について
2 月定例会 (2 月 27 日)	報告第 1 号	議会の議決を経るべき議案について(令和 4 年度八幡平市一般会計補正予算第 10 号)
	報告第 2 号	議会の議決を経るべき議案について(令和 5 年度八幡平市一般会計予算)
	議案第 1 号	専決処分の承認を求めることについて(令和 5 年度八幡平市教育行政運営基本方針と重点演述)
	議案第 2 号	八幡平市立小・中学校教職員の人事異動の内申について
3 月定例会 (3 月 20 日)	報告第 1 号	八幡平市立学校給食費に関する規則の一部を改正する規則について
	議案第 1 号	令和 4 年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について(令和 3 年度対象)
	議案第 2 号	令和 5 年度八幡平市学校教育の方針について
	議案第 3 号	八幡平市教育委員会職員の人事異動について
	議案第 4 号	第 3 期八幡平市小中学校適正配置計画(令和 4 年度～令和 13 年度)について

(2) 教育長及び教育委員の会議・研修会への参加状況
(但し、主催者・来賓で出席した会議、会合等を除く)

月 日	会 議 等 の 名 称	出 席 者
4月18日	第1回管内教育長会議並びに第1回管内学校教育担当課長会議	教育長
4月21日～22日	第73回東北都市教育長協議会定期総会及び研修会（秋田県大館市）	教育長
4月26日	第1回岩手県学校教育ICT推進協議会、県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換会	教育長
5月12日～13日	第72回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会（山口市）	教育長
5月18日	岩手県市町村教育委員会協議会定期総会	教育長
7月13日	第2回管内教育長会議	教育長
8月29日～30日	管内教育長等管外学事視察（宮古市）	教育長
11月2日	第3回管内教育長会議並びに第2回管内学校教育担当課長会議	教育長
11月7日	管内市町教育委員会教育委員等研修会、「いわて教育の日」のつどい	委員・教育長
11月9日	盛岡教育事務所・岩手地区市町教育委員会教育長及び岩手地区校長会教育懇談会	教育長
11月10日～11日	市町村教育委員会協議会（第1ブロック）（群馬県前橋市）	委員・教育長
11月14日	第2回岩手県学校教育ICT推進協議会	教育長
	第2回県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換会	教育長
11月17日	県市町村教育委員会協議会教育長部会	教育長
1月17日	第4回管内教育長会議並びに第1回人事異動等調整会議	教育長
1月20日	第2回人事異動等調整会議	教育長

月 日	会 議 等 の 名 称	出 席 者
1 月 24 日	岩手県立博物館協議会	教育長
1 月 31 日～2 月 2 日	第 3 回人事異動等調整会議	教育長
2 月 7 日	第 3 回岩手県学校教育 I C T 推進協議会	教育長
	第 3 回県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換会	教育長
2 月 13 日～15 日	第 4 回人事異動等調整会議	教育長
2 月 16 日	第 5 回人事異動等調整会議	教育長

(3) 教育委員の構成と任期

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

委 員	氏 名	任 期
委 員	羽 沢 憲 英	R 4. 11. 15～R 8. 11. 14
委 員	宮 野 朋 士	R 2. 11. 15～R 6. 11. 14
委 員	松 田 育 恵	R 3. 11. 15～R 7. 11. 14
委 員	小 野 永 喜	R 4. 11. 15～R 8. 11. 14

3 令和 4 年度事業点検評価について

本市の教育行政は、第 2 次八幡平市総合計画の基本目標の一つとして掲げる「心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり」を目指し、「教育・文化の充実」の実現のため、令和 4 年度に取り組むべき施策の重点事項を定め、さらに、八幡平市学校教育指導計画、八幡平市生涯学習・生涯スポーツ行政の基本方針を策定し、重点項目とともに 4 つの教育分野（学校教育・生涯学習・体育振興・学校給食）で、社会情勢の変化と時代の要請に対応した施策の展開を図りました。

また、依然として新型コロナウイルス感染症の影響がある中、厳しい財政状況下ではありますが、限られた財源の中で各種施策・事務事業の優先順位を見極めながら、より適切な執行に努めました。

なお、令和 4 年度における各教育分野の施策毎の点検評価の結果については、別紙事務点検評価表のとおりです。

点検評価表の説明			
※ 総合評価 「A」から「D」までの4段階で区分されます。			
	区分	総合評価の考え方	
	A	現状（計画・予定）どおり事業を進めることができた	
	B	事業内容や事業手法に改善を行う余地あり より一層の効率化やコスト削減成果向上に努める必要あり	
	C	事業内容や事業手法の大幅な見直しが必要 事業規模や実施主体等事業内容の大幅な見直しに努める必要あり	
	D	事業の廃止や休止、事業規模の大幅縮減等事業のあり方について抜本的に検討する必要あり	
※ 今後の実施方向性 評価結果を踏まえ、次年度以降の業務活動の実施方向性を以下の8段階で示しています。			
	実施方向性	内 容	
	拡大充実	今後内容を拡充して実施していく業務活動	
	継続	今後も現状を維持していく業務活動	
	改善	現在の手法等を見直し何らかの改革・改善を実施する業務活動	
	縮小	環境変化や有効性の観点から概ね5年以内に廃止を検討するまたは縮小する業務活動	
	統合	対象や意図が同じような他の業務活動と統合させ業務の効率化を図る業務活動	
	廃止	環境変化や有効性の観点から廃止する業務活動	
	休止	環境変化や有効性の観点から休止する業務活動	
	完了	計画により終了する業務活動	

令和4年度 学校教育事業点検評価表

基本目標1 未来への希望にもえるまちづくり

教育総務課

施策	事業名	実 施 状 況	総合点検・評価	
			達 成 状 況	
住んで幸せを感じるまちづくり	平館高等学校教育振興事業	○平館高等学校の教育振興促進を図ることを目的として活動する平館高等学校教育振興会の事業について支援を行った。 ・進路指導への支援 ・部活動の強化支援 ・国際理解教育の推進 ・県外からの入学者への支援 ・通学定期費用の支援 ・制服購入費用の支援	総合評価	今後の実施の方向性
			A	拡大充実
			進路指導への支援、部活動の強化支援、国際理解教育の推進、県外からの入学者への支援として、対象者に住居費や食事代の助成、通学定期費用の一部助成のほか、令和4年度から制服購入費の一部を助成する支援を実施している。平館高校が今後も地域の核としてあり続け、魅力を増していくよう各支援を通し同校の発展に貢献している。	
安心して子育てができるまちづくり	私立幼稚園支援事業	○市内の私立幼稚園設置者に対し、幼稚園児在園者数に応じた運営費を補助した。（園児 のべ320人）	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			少子高齢化に伴い、私立幼稚園に通園する園児は年々減少している中、私立幼稚園の振興が図られ、今後も継続が必要である。	

基本目標 3 心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり

教育総務課

施策	事業名	実 施 状 況	総合点検・評価	
			達 成 状 況	
地域に根ざした教育の充実	教育委員会運営事業	○教育委員活動 教育委員等により、中学校1校を訪問した。さらに、学期ごとに指導主事による学校訪問や、地域福祉課や健康福祉課と連携した相談員の訪問を実施した。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			教育委員が学校の様子（児童生徒・教師・授業）を見て、先生方と懇談することで、市内の学校の実情を知る機会となった。指導主事の訪問により、教師や児童生徒の現状を実際に把握・指導することができた。相談員の訪問により、不適応児童生徒や就学・家庭環境に問題のある児童生徒を把握し、今後の推進について情報交換が図られた。	
	教育指導推進事業	○小学校体育連盟・中学校体育連盟の支援 小学校の陸上競技会は保護者の観戦なしで実施され、陸上競技会・水泳記録会の運営費や陸上競技の備品購入費、また中学校については、開催された運動部の地区県、東北及び全国大会出場に係る選手の旅費等の助成を行った。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			この補助事業は、児童生徒にとって重要なものである。小学校に関しては、学校における体育行事を適正に行うための支援を行い、体育活動の健全なる普及を図った。 また、中学校に関しては、生徒の心身の健全育成を図ることを目的とする運動部の活動支援として、各種大会出場等について補助を行い、体育活動の振興発展を図った。	
		○小学校文化連盟・中学校文化連盟の支援 小学校の音楽発表会は2部制として実施され、音楽発表会の運営費や各学校文化活動への支援、また中学校については、開催された文化部の地区大会出場に係る選手の旅費等の助成を行った。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			この補助事業は、児童生徒にとって重要なものである。小学校に関しては、学校における文化活動の健全な普及と発展を目指し、文化的行事の企画運営の支援を行った。 中学校に関しては、学校の文化的行事への参加支援、文化部の各種大会出場等についての補助を行い、文化活動の振興発展を図った。	
		○児童生徒表彰事業 各小・中学校から推薦を受け、スポーツ部門、個人7人と団体2団体、文化部門個人3人と団体1団体の表彰を2月に行った。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			個人や団体の功績に対し、多くの人に称えられることで、本人はもとより他の児童生徒の励みになっていることから、継続して行っていくことが必要である。	

施策	事業名	実 施 状 況	総合点検・評価	
			達 成 状 況	
地域に根ざした教育の充実	教育指導推進事業	○奨学金貸付 高校、高等専門学校、大学で学びたい方への奨学金の貸付を行った。 ＜貸付状況＞ 7名（うち新規1名） ※令和5年3月現在	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			近年の貸付の状況は、毎年10名程度利用しており、就学奨励の意味からも、継続実施が必要である。	
	就学支援事業	○次年度就学予定児童に対し就学時検診（健康診断、知能検査）を実施。検査結果により、適正な就学の推進と、個々の教育的必要に応じた教育を行った。また、教育支援委員会を3回開催し、特別な配慮を要する児童生徒の適正な就学の推進と、個々の教育的必要に応じた教育を行った。 ○幼児ことばの教室を開設し、個に応じた計画を立て指導を行い、ことばなどの発達を支援した。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			就学時健診を実施することにより、入学前から児童の健康状態や家庭環境などを把握することができ、入学後の支援に非常に役立っている。また、入学前から特別な配慮が必要な児童を把握することで、入学後、学校での対応が非常にスムーズに行うことができた。また、保護者との就学相談の実施により、入学への不安を減少できている。 全健診項目実施するため、健診会場を統一した。 在校生についても特別な配慮が必要とする児童生徒の把握（経過観察含）について実施しており、適正な教育支援を推進することができている。	
	加配事業	○児童生徒支援として、支援が必要な児童生徒（発達障がい、知的な遅れ）がいる学校や複式指導を行っている学校にサポートを配置し、一斉指導の中で個別の対応を行ったり、複式学級において単式で授業を行ったりしながら、担任と協力して児童生徒の学習や生活を支援した。 また、学校図書館を円滑に運営するため、図書館司書を配置した。 ・ひかりサポート（小） ・みのりサポート（中） ・にこにこサポート（複式） ・適応指導教室指導員 ・適応支援相談員 ・学校図書館司書 ・ICT支援員	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			今年度は、小学校10校に15名のひかりサポート、中学校4校に8名のみのりサポートを配置し、特別な配慮を要する児童生徒の支援及び複式指導の支援に当たった。一斉指導の中で個に応じた指導・支援がきめ細かく行われ、児童生徒が落ち着いて学習や生活を送ることができるようになった。また、複式学級の支援としてにこにこサポートを3名配置するとともに、不登校傾向にある児童生徒の支援のため、適応指導教室指導員1名、適応支援相談員2名を配置し、学校生活への復帰の支援等を行った。学校図書館司書を4名配置し、学校図書館の利用促進を図った。また、今年度より新たにICT支援員を2名配置し、ICT機器を活用した授業、研修、不具合対応等の支援を行った。	
	外国語指導助手設置事業	○小学校における英語活動の推進 小学校外国語活動の完全実施に伴い、共通教材の活用と年間計画の見直し、授業の在り方についての校内研修の推進、ALTの小学校への派遣を行った。（ALT4名）	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			各小・中学校への派遣するALTを継続したことで、学校や児童の状況に応じた対応ができた。	

施策	事業名	実施状況	総合点検・評価	
			達成状況	
地域に根ざした教育の充実	教員住宅維持管理事業	○市内小中学校に勤務する教職員の住居の用に供するため施設管理を行った。 〈現在の教員住宅〉（6ヵ所） （西根8戸、松野2戸、松尾5戸、柏台3戸、保土沢4戸、叭田2戸）	総合評価	今後の実施の方向性
			B	改善
			入居可能な教員住宅（松野2戸、松尾5戸、叭田1戸）を維持管理している。 入居見込みがないものは計画的に解体撤去をする。	
	スクールバス運行事業	○遠距離通学の児童・生徒の負担軽減のため、スクールバスの運行をした。 現在は、西根地区5台、松尾地区4台、安代地区7台で運行している。 ・西根地区・・・業者委託 ・松尾地区・・・市直営 ・安代地区・・・運転業務のみ業者委託 ○老朽化した安代地区スクールバス1台を更新した。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			遠距離通学児童生徒の通学負担の緩和を図るため、スクールバスを運行しており、今後もこの事業は継続していく必要がある。 今後の課題として、老朽化した車両が多くなっていることから、計画的な更新が必要である。	
	江間章子賞開催事業	○25回目を迎えたこの事業は、県内小中学校に6月に募集を行い、応募数は1,265編、応募学校数は、小学校11校、中学校12校の応募ありました。11月に優秀作品12点の授与式を行った。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			名誉市民を顕彰するとともに、八幡平市にとって唯一の情操教育事業であることから、継続して行くことが必要である。	
	学校適正配置事業	○適正配置検討委員会より報告された「第3期適正配置計画（案）」について、教育委員会・市議会等への説明を経て、市内全小中学校において住民説明会を開催するとともに、パブリックコメントにより意見の集約を行った。3月に、「第3期八幡平市小中学校適正配置計画」を策定した。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	拡大充実
			第3期適正配置計画の推進のため検討委員会を設置し、統合に向けた具体的な内容について協議・検討を、小学校統合に係るアンケートについて再度実施する。	
	学校管理事業	○学校施設は、年々老朽化しており、修繕や改修工事の要望が多くなっている。 ・修繕件数 小学校 89件 中学校 30件 ・工事件数 小学校 6件 中学校 3件	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			限られた予算の中で対応している。各学校からの要望に対し、緊急性や必要度を勘案して実施してきた。 大規模改造（老朽）工事については、学校の適正配置を勘案して実施する必要がある。	

施策	事業名	実 施 状 況	総合点検・評価	
			達 成 状 況	
地域に根ざした教育の充実	学校保健衛生事業	○児童生徒に対し、学校保健安全法に基づき、学校医、学校歯科医による定期検診、保健指導及び相談を実施した。また、学校薬剤師による施設環境検査、健康教室を実施した。	総合評価	今後の実施の方向性
		【検査・健診科目】 ・小学校：尿検査、内科、歯科、耳鼻科、眼科、心臓検診) ・中学校：尿検査、内科、歯科、耳鼻科、眼科、心臓、生活習慣病予防健診) ・教職員：定期健康診断（がん検診含む）を実施し、自身の健康の保持増進を図った。	A	継続
			この事業実施により、市内児童生徒及び教職員の心身の健康の保持増進を図ることができている。 また、各種環境検査の実施により、施設環境面からも、学校における教育活動が安全な環境において実施することができ、学校教育の円滑な実施が保たれている。	
	教育振興事業	○経済的な理由により、就学が困難な世帯に対し、学用品費や学校行事費用、給食費などの費用の一部援助を実施した。 ・小学校 要保護 5 名 準要保護160名 計165名 ・中学校 要保護 3 名 準要保護77名 計80名 合計245名（年度内で若干の変動あり）に支援を行った。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			経済的に不安がある世帯に属する児童生徒について、就学に係る経費を援助することにより、教育を受ける環境が安定し、教育機会の公平につなげることができた。 学校や福祉部署を通じて制度の周知に協力してもらい、援助が必要な児童生徒の把握に努めた。また、転入児童生徒の把握と年度途中の保護者の経済状況の急変の場合には、その都度申請を受けて年度途中認定するなど、その時々状況に応じた対応を行った。	
		○GIGAスクール構想に基づき、普通教室に電子黒板及び実物投影機を整備した。	総合評価	今後の実施の方向性
		○オンラインによる家庭学習のための通信環境を整備する費用の一部について、補助を行った。	A	継続
		○中学校全学年の生徒一回分の英語検定料の補助を行った。	校務用パソコンも含めて、引き続き、経過年数に応じて順次計画的に更新していく必要がある。	
		○小中学校教材・備品の充実 学校からの要望をもとに、授業やクラブ活動に必要な備品等の購入を行った。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			理科教育設備品等教材備品の購入を行い、授業や課外活動に活用できた。 予算の範囲内での対応になるため、学校の希望どおりには整備できていないが、各学校に偏りが生じないよう配慮しながら予算を配分していく必要がある。	

施策	事業名	実 施 状 況	総合点検・評価	
			達 成 状 況	
地域に根ざした教育の充実	教育研究所事業	○学力調査の実施 4月下旬に、市内の小学校4年生を対象に国・算、5年生を対象に、国・算・社・理、中学校1年生を対象に国・社・数・理、2年生を対象に、国・社・数・理・英の学力調査を実施している。 7月にはその結果を報告書にまとめて校長会議で情報提供するとともに、各校で2学期以降の指導に生かしてもらった。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			市内の小・中学生の学力の実態について客観的資料を得て、その変化を経年で比較したり、知能検査とのバッテリーにより課題を明らかにしたりして、授業（指導）改善及び教育課程の編成等に生かした。	
		○防災教育研究部会（重点研究部会）開催 市独自の火山防災教育カリキュラムの検討と合わせて、火山防災副読本及び授業展開例の作成を行った。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			令和3年度末に各校に配布した「火山防災副読本」を活用した授業の在り方について、防災教育研究部会を中心に検討会や授業研究会を行った。火山防災教育を教育課程に位置付けた実践の充実に向け、今後も継続した取組を行っていく。	
		○重点研究の実施 令和3年度に引き続き研究を休止し、防災教育研究部会、英語教育研究部会、ICT教育研究部会を設置。部会ごとに授業研究会を実施し、課題解決の有効な手立てを探った。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	改善
			H29学習指導要領で求められる喫緊の教育課題に対応すべくテーマ別研究を休止して重点研究部会を設置した。それぞれの研究を推し進めながら、市内各校に広めていくこととする。	
		○先進研究の取組 研究指定2年目として研究を推進し、研究の成果を公開した。 ・ 田頭小学校（市火山防災カリキュラムの活用） ・ 平笠小学校（算数） ・ 安代中学校（ICT活用）	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			市内全小中学校から校長・副校長・教諭・養護教諭・講師が参加した。授業提案及び指導主事等からの助言により、授業改善の取組の成果や課題を得て、日々の授業改善に資することができた。	
		○公開講座の実施 長期休業中に、盛岡教育事務所指導主事、市指導主事、市教育相談員等を講師に、教科、領域、生徒指導等の諸課題の解決に向けた研修講座を開設し、自主的な研修の場を保障した。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			「学校経営講座」「ICT活用講座」「特別支援教育講座/学校保健」「総合的な学習の時間を核としたカリキュラム・マネジメント講座」「ふるさと理解講座」「外国語活動・外国語・英語研修講座」「複式学習指導講座」「防災教育講座」「生徒指導・教育相談講座」を開設。市内全小中学校教員が希望によりコース選択し、講座を受講。先生方の識見を高めることに資することができた。	

施策	事業名	実 施 状 況	総合点検・評価	
			達 成 状 況	
地域に根ざした教育の充実	教育研究所事業	○教育相談事業の実施 教育に係る情報の収集と研究所所報の発行、教育相談員による年2回の教育相談を行った。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			教育研究所所報「岩鷲山」を年度末に発行。市内各小中学校全教員に配付するとともに、県内各市町村教育委員会にも配付し、研究所の事業について広く紹介することができた。教育相談では、児童生徒や保護者の悩みや育ちの課題について相談を受け、寄り添い、時にはみたく支援学校教諭から指導の手立てについてアドバイスをいただき、学校生活へ適応できるよう助言した。	
	コミュニケーション等促進事業 スクール導	○市内全14校すべての学校運営協議会において、地域とともにある学校づくりを目指して取り組んだ。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			八幡平市CS推進協議会での情報共有や研修、CSアドバイザーの配置による各校への支援によって、学校運営協議会の活動の充実を図ることができた。 また、CSコーディネーターを配置することによって、地域学校協働活動を充実させることができた。	

学校給食センター

施策	事業	実 施 状 況	総合点検・評価	
			達 成 状 況	
地域に根ざした教育の充実	学校給食センター管理運営事業	○学校給食の実施 食の安全が強く求められる社会背景の中、衛生管理の徹底に努め、より安心・安全な給食の提供を行った。 また、学校との連携強化及び地産地消の推進を図り、食に関する指導を実施した。 - 給食日数175日 - 給食費（1食当たり） 小学校226円 中学校247円 - 食に関する指導全校実施 全14小中学校 延べ76回 - 試食会開催状況 全9校 延べ91人	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			地元食材の活用推進のため、市食材供給組合及び産直等からの購入に努めている。 栄養教諭による食に関する指導の実施や保護者等の試食会などの開催により学校給食の周知を図った。試食会については、コロナの影響による日常も徐々に落ち着きを取り戻しはじめ、前年度より件数も増えてきた。 また、小学校低学年を対象とする食に関する指導の際は、小学校2年生には給食センター調理員、小学校3年生には生産者が同行した。	
		○給食費の滞納整理 過年度滞納分の収納に努めるとともに、新たな滞納発生を抑制するため、現年度分の収納についても納付勧奨に努めた。	総合評価	今後の実施の方向性
			B	改善
			現年度分の収納率については、前年度並みであった。 過年度滞納分については、7月、2月と年2回督促状を送付し納付の勧奨に努めたが、納付が困難な状況になってきている者もいるため、今後も継続して収納向上に取り組む必要がある。	
		○給食費の改定（値上げ） 近年の物価高騰等により、合併以降実質据え置いてきた給食費での給食提供が厳しくなってきたため、令和5年度からの給食費の値上げに向け協議を行った。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			給食センター運営委員会での意見を踏まえ、10月に学校給食費の現状に関するチラシを配布し保護者への周知を図った。また、改定額については、運営委員会での審議を得、その後、市内部との協議を進めながら令和5年度からの値上げが決定した。	

施策	事業名	実施状況	総合点検・評価	
			達成状況	
心豊かな人生を送る学習機会の充実	教育振興運動	○教育振興運動推進大会の開催 2月25日に、松尾地区コミュニティセンターで推進大会を開催し、2実践区（松野・寄木）の事例発表、畑コミュニティセンターと平館高校の活動発表が行われた。 また、「三行詩」の表彰、児童生徒表彰についても併せて実施した。 ・参加人数225名	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			今年度は、実践区の取組発表、協議会事業の紙面報告、畑コミュニティセンターの活動紹介と一貫した内容での推進大会の運営とした。五者が、それぞれ「自分ごと」として関わる教育振興運動の基本に取り組めた活動となった。	
		○各実践区集約集会 9実践区それぞれが、実践班の1年間の活動の成果を発表した。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			成果の共有を図ることによって、活動の意欲の向上に繋がっている。 地域行事への参加も積極的に進められ、地域づくりに繋がっている。	
		○子どもリーダー研修会 8月3日に西根地区市民センターで、中学生18名、小学生61名が参加し開催した。 「SDGsって何？考えよう自分たちができること」をテーマにワークショップを行い、リーダー育成を図った。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			グループでのワークショップで自分の考えを伝えたり、他人の意見を聞いたりして、課題解決のために話し合いをする活動が子どもたちにとって、とてもいい経験となった。 自分の考えを話すことの楽しさを感じた子どもが多く、リーダーとしての自覚を促す活動となった。	

施策	事業名	実 施 状 況	総合点検・評価	
			達 成 状 況	
心豊かな人生を送る学習機会の充実	生涯学習推進事業	○市生涯学習推進大会 新型コロナウイルス感染対策を施し実施した。PTAを中心に92名の参加があった。 ○市生涯学習まちづくり出前講座 庁内8課ら21講座の登録があり、延べ37回の講座を実施し、680人の受講があった。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	拡大充実
			市生涯学習推進大会は前年度はコロナ禍であったため、中止したが、令和4年度は感染防止対策を施し、規模は縮小したが開催することができた。 コミセンや各行政区・団体等の行事等に合わせて少数で行う出前講座では、実施した10講座（うち「ニュースポーツ」が6講座）を利用いただいた。 受講数等は前年度を上回った（令和3年度実績：19講座、10回、241人受講）。	
	総合教育支援事業	○市総合教育支援事業 市内小中学校、保育所、学童クラブを対象に事業に対する講師料や消耗品購入費を補助した。 市内38施設中25施設、103件の事業申請があり、児童生徒の健全な育成に寄与した。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	拡大充実
			各施設や地域の特色を生かした事業を実施し、事業実施後のアンケート結果では、児童生徒から「楽しかった」「良かった」という意見が97.5%を占めた。 コロナ禍ではあったが、受講者数は等は前年度を上回った（令和3年度実績：93件）。 未実施の施設があるため、全施設での実施に向け、事業を活用してもらうように働きかけていく必要がある。	
	芸術文化振興事業	○八幡平市芸術文化協会補助金 市芸術文化協会が実施する事業に対し、補助金を交付した。 ○八幡平市芸術祭 新型コロナウイルス感染対策を施し舞台部門・展示部門ともに開催した。 ○青少年劇場 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を施し、市内中学生を対象として実施した。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			芸術文化を推進する核となる団体である市芸術文化協会は、感染症対策を施し規模縮小を図るなど、創意工夫を重ねながら事業を実施。その活動に対し支援を行うことができた。 青少年劇場は前年度はコロナ禍で中止したが、令和4年度は感染防止対策を施し開催することができた。	

施策	事業名	実施状況	総合点検・評価	
			達成状況	
心豊かな人生を送る学習機会の充実	文化財保護事業	○文化財保護審議会 市内各地区から委員9名を任命して、年2回審議会（第2回はコロナ禍のため中止）を開催し、年間計画、諮問等を審議した。 委員視察研修については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			審議の内容によっては、有識者（研究者等）による意見聴取も必要である。	
		○文化財調査 各種文化財の調査を随時実施した。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			指定文化財等の状況把握及び、今後に向けての基礎調査を実施した。	
	博物館管理事業	○文化財保護、継承活動 市指定等有形文化財24件（30件中）、無形文化財登録団体11団体（18団体中）を対象に保護及び保存に係る経費の一部を補助した。 無形民俗文化財の映像記録保存はコロナの影響で中止となった。	総合評価	今後の実施の方向性
			B	継続
			市指定無形文化財団体18団体のうち5団体が活動休止しており、今後も活動休止は増えていくことが想定される。継承保存のため記録映像作成はコロナの影響で実施することが出来なかった。 今後も保存団体と協議しながら支援していく必要がある。	
		○博物館・歴史民俗資料の展示 常設展示は、各ゾーンの一部の資料の入れ替えを行うなど、展示コーナーの充実を図った。（入館者数2,023人、企画展487人）	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			鉾山資料館での縄文人の精神文化に関するミニ企画展、不動の滝祭りでの移動博物館、安比川流域の縄文文化を遺跡出土品を通して紹介した企画展を行い、市民や利用者の満足度の向上に貢献した。	
		○博物館・歴史民俗資料の収集 歴史史料、民俗資料の寄贈、寄託を随時受入れている。（所蔵資料1,383点、常設展示資料620点、令和4年度寄贈資料256点） 日本遺産関連事業として、漆関連資料調査報告書第1集を刊行した。	総合評価	今後の実施の方向性
			B	継続
			日本遺産関連の寄贈、寄託等が多くなる一方、資料管理作業が追い付かない状況である。また、博物館所蔵の収蔵品の把握・管理も不十分である。人員不足や収蔵庫、整理場所の確保等を要する。	
		○博物館教養講座等 ・教育普及講座7回（364人） 平舘高等学校総合探求の時間を活用した教育普及講座 ・ナイトミュージアム（119人） ・皆既月食観察会（20人）	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			コロナの影響により多くを中止せざるを得ない状況であったが、対策を講じて出来る限り実施に努めた。2年ぶりに実施したナイトミュージアムでは、多くの来館者があった。	

施策	事業	実 施 状 況	総合点検・評価	
			達 成 状 況	
心豊かな人生を送る学習機会の充実	図書館管理事業	○八幡平市立図書館協議会の開催 年2回定例会を開催、図書館の運営や図書館活動、新市立図書館整備内容について協議した。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			図書館振興のあり方を情報交換し、本市の図書館活動の発展に寄与している。	
		○読み聞かせ事業の実施 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、子ども図書館まつり、読み聞かせ講習会は中止されたものの、毎月定例の読み聞かせ活動は実施した。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			新型コロナウイルス感染拡大の影響はあったが、市内ボランティア団体の協力により協働事業が展開することができた。	
		○図書館による読書推進活動の実施 新型コロナ感染拡大の影響により、子ども図書館体験等の事業を一部内容変更して実施した。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			新型コロナウイルス感染拡大の影響はあったが、創意工夫により事業を実施できた。	
		○図書館利用状況 ・開館日数 292日 ・来館者数 14,256人 ・貸出者数 11,733人（個人） ・利用点数 50,221点（個人）	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			新型コロナウイルス感染拡大の影響により来館者数、貸出者数、利用点数ともに減少しているが、貸出点数上限の緩和し、家庭における読書活動の推進を図った。	
		○HPの随時更新、市広報誌への記事の掲載により、図書館事業・活動の紹介や書籍情報の周知を図った。 年4回の「図書館だより」については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により3回の発行とした。	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			HPの随時更新及び市広報誌への記事の掲載により、情報の更新に努めた。	

施策	事業名	実 施 状 況	総合点検・評価	
			達 成 状 況	
ス ポ ー ツ 活 動 の 推 進	体 育 振 興 事 業	○市民スポーツ振興事業の委託 ・スポーツ大会等の開催 広域大会6大会 市民大会13大会 地区大会4大会 体験教室10教室 ・育成強化、派遣育成事業 競技団体24団体 ・スポーツ少年団の助成及び指導者育成 26団体、指導者91人、団員398人	総合評価	今後の実施の方向性
			A	拡大充実
			市民の体力向上、競技団体及びスポーツ少年団の組織強化、競技力向上など、市民スポーツの振興が図られた。 事業内容については、委託先である市体育協会と協議しながら、見直しを図っていく。	
			総合評価	今後の実施の方向性
		○スポーツ教室、ニュースポーツの普及 ・水泳教室 177人参加 ・みんなのスキー教室 31人参加 ・ニュースポーツ開催支援事業 398人参加 ・体育協会委託事業 8教室開催 (姿勢改善エクササイズ、ストレッチ運動教室、ウエイトトレーニング教室、ヨガ教室、シニア健康体操教室、ノルディックウォーキング教室、キッズスポーツ教室、骨盤体操教室)	A	拡大充実
			市主催、体育協会委託の教室を開催し、生涯スポーツの普及、市民の体力向上が図られた。 ニュースポーツ開催支援事業を通じて、各地域コミュニティセンターなどのスポーツ活動の支援を行った。	
			総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
		○学校体育施設の開放 ・市内小中学校14校が開放し、延べ18,526人利用	小学校及び中学校の運動場、体育館を開放し、市民のスポーツ活動の場として利用の促進が図られた。	
			総合評価	今後の実施の方向性
		○スポーツ大会の支援 ・八幡平ヒルクライム (355人) ・あっぱりレーマラソン (181チーム1,533人) ・全国小学生アルペンスキー大会 (中止)	A	拡大充実
			イベントを通じて市のPR及び地域経済の活性化・生涯スポーツの推進並びに交流人口の拡大が図られた。	
			総合評価	今後の実施の方向性
			A	拡大充実

施策	事業名	実 施 状 況	総合点検・評価	
			達 成 状 況	
スポーツ活動の推進	八幡平市スキー大会実行委員会	○八幡平市スキー大会実行委員会 主管大会 ・田山ジュニアサマージャンプ大会 44人 ・田山クロスカントリー大会 268人 ・岩手県中学校スキー大会 延べ166人 ・岩手県高等学校スキー大会 延べ72人 ・岩手県スキー選手権大会ノルディック種目 延べ41人 ・岩手県民体育大会スキー競技会 延べ319人 ・東日本バイアスロン選手権大会 64人 ・特別国民体育大会スキー競技会 延べ1,577人	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			当市を会場に開催されるスキー大会で、市が主催又は共催する大会の実施運営に関する業務を行い、選手強化、交流人口拡大、地域の活性化が図られた。また、特別国体冬季大会スキー競技会を実施した。	
	体育施設維持管理事業	○指定管理 ・（一社）八幡平市体育協会23施設 総合運動公園（体育館、多目的運動場、野球場）、三ツ森グラウンド、松尾総合運動公園（多目的運動広場、多目的屋内運動場）、松尾テニスコート、松尾柔剣道場、松尾相撲場、松尾B&G海洋センター、安代地区体育館、安代グラウンド、田山グラウンド、矢神体育館、矢神飛躍台、市ラグビー場、鬼清水球技場、中山ラグビー場、中山野球場、中学校屋外運動場照明施設（西根中・西根一中・松尾中・安代中） ・（有）タカ・コーポレーション いこいの村岩手体育館 ・八幡平市ライフル射撃・バイアスロン協会 田山射撃場、ローラースキーコース ・平舘地域振興協議会 平舘ふれあい広場テニスコート	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			利用者の効率的な利用に供するため、指定管理制度により左記の施設の管理運営を委託し、連携して施設の維持管理を行った。 施設の修繕について緊急性が高いものから実施しているが、多くの施設が経年相当の劣化が見られることから、市公共施設再編計画に基づき管理していく必要がある。	
		○体育施設の維持管理 主な修繕・工事・備品購入 ・矢神飛躍台改修工事 (374,000千円) ・西根相撲練習場解体工事 (14,740千円)	総合評価	今後の実施の方向性
			A	継続
			体育施設及び付随物品等の適正な維持管理を実施するため、施設の修繕・工事を実施したことにより、利用者の利便性の向上が図られた。また、合宿等誘致に伴う環境整備を行った。	